

平成19年度治山・林道工事コンクール 林野庁長官賞

平成19年度治山・林道工事コンクール・林野庁長官賞の表彰式がこのほど東京で行われた。成果品の質はもとより、万全の安全管理、周辺環境の保全対策など、他の模範となる優れた施工成績を残し、国有林野事業の推進に大きく貢献した各社が晴れて顕彰された。

治山部門

材料厳選し高品質

宮坂建設工業株式会社



宮坂建設工業株式会社 社長 宮坂 寿文

宮坂建設工業(株) (帯広市西四条南八丁目二番地)は大正十一年に創業。以来、管内を代表するリーディングカンパニーとして確固たる地位を築いている。

加工を施すなど、厳選した品質の材料を使用し、見事な出来栄に仕上げた。また、コンクリート計量は正確で、品質管理も優れていた」と評価している。

宮坂建設工業(株) (帯広市西四条南八丁目二番地)は大正十一年に創業。以来、管内を代表するリーディングカンパニーとして確固たる地位を築いている。

受賞対象の「成田の沢124林班治山工事」では溪間工を実施。国道沿いの現場であるため景観に配慮し、型枠は方ラマツ丸太を使用した残置式とした。

道森林管理局は「資材選定については、寸法狂いやそのの生じた材料を外し、施工性のよい円柱



成田の沢(124林班)治山 (十勝東部署)

治山・林道工事コンクール表彰式 4社の代表者らに授与 優れた技術力を発揮

局務 林野庁長官賞
事務 道森林管理局
帯広 道森林管理局



設・(災復)が全道五十一件中帯広七件。

このうち、治山部門で萩原建設工業(株) (帯広、萩原一利社長)と写真下の「チロツベ川支流2005林班治山」根釧西部署、栗林建設(株) (帯広、石川司社長)の「ペンケナイ中の沢2121林班治山」十勝西部署、(林道部門)で拓殖工業(株) (帯広、武田泰幸社長) (広尾、武田泰幸社長)の「一中の川林道災害復旧」十勝西部署、白崎建設(株) (釧路、白崎義章社長)の「麻路本流林道ほか1線災害復旧」根釧西部署」の計



【帯広発】道森林管理局帯広事務所は十八日、事務所一階大会議室で十九年度治山・林道工事コンクール表彰式(帯広事務所所管)を挙行政した。受賞した四社の代表者らに安室政彦所長が表彰状を手渡し、栄誉をたたえた写真上。

本年度の受賞対象は、治山部門(十八年度発注の二千万円以上の溪間工、一千五百万円以上の山腹工)が全道七十二件中帯広十一件、林道部門(十八年度発注の一千五百万円以上の新

四工事が道森林管理局長賞を受賞した。表彰式では、はじめに工藤副所長が事務所管内から林野庁長官賞に輝いた「成田の沢124林班治山」十勝東部署」を施工した宮坂建設工業(株) (帯広、宮坂寿文社長)と「札友内林道新設」根釧西部署」を施工した辻谷建設(株) (弟子屈、辻谷智之社長)が二月七日に東京で表彰を受けたことを報告。

続けて、道森林管理局長賞を受賞した各工事の選考理由を読み上げたあと、安室所長が受賞各社の代表者に表彰状を手渡した。

安室所長は「施工条件も厳しい中、優れた技術力を存分に発揮し、立派な成果品を提出していただいた。その結果、管内から四社が表彰を受けたことを非常にうれしく思っている。今後も技術研鑽に励むとともに、安全に配慮した施工を続けてほしい」と話している。